

おやこDEおでかけ♡
mama to issho

TEKUTOCO

奈良県で子育てを応援する情報誌

創刊号

Vol.01 | Take Free

2020.7.1

http://asuka-nara.com

発行／一般社団法人マザーワークマネジメント

奈良県橿原市八木町3丁目7-19

E-mail mother@link-fujikawa.com

10,000部発行／隔月発行



特集 Special Edition

子育てのお悩みや解決を
保育士さんがご紹介！



子育てを応援する情報誌「テクトコ」は、奈良県で子育てをされているママさんパパさんに向けたフリーペーパーです。より良い子育て環境の手助けとなるよう、公的機関の支援事業の案内や、子育てから得られる喜びやお役立ちコラムを掲載。またこの「テクトコ」を通して地域で子育てからのつながりが広がり、親と子が安心できる環境で楽しく生活が送れるようになるとこのたび創刊するのはこびとこ

同じ趣味や悩みを共有できる子育てでは、もっと、楽しくなります。ママさんパパさんの出合いの場、親子で楽しめるお出かけの場を見つけていただけるような情報を発信していきます。



Greetings!
創刊のごあいさつ



この度はフリーペーパー
「おやこDEおでかけ♡TEKUTOCO」を
手にとっていただき
誠にありがとうございました。

お子さまの写真が表紙に！



カワイイお子さまの写真で、テクトコ誌面の表紙を飾りませんか？
上記の表紙コーナーにご掲載します！ぜひ応募お待ちしております！

詳しくは
こちらまで



この保育園なら
自分らしく働ける

このコーナーでは、実際に現場で活躍する
ママ保育士さんの声を紹介！あなたの
「頑張りたい！」という気持ちに響くかも！

私たちが考えるこれからの保育園は、児童福祉施設として子どもを預かり質の高い保育サービスを提供することは無論のこと、働く家庭をサポートし、地域のコミュニティの礎となることです。そして、そこで働く職員の子育てを支援し、援助できる施設、つまりは子育てと仕事の両立ができ、安心して働ける法人、職場を目指しています。

● 正規職員の場合
大好きな保育の仕事が長く
続けられます！

田中先生／38歳／子どもの森保育園勤務／
副任保育士／保育士になつて18年目／子ども3人のお母さん

職場には、若手からベテランまで様々な年齢の職員がいます。子育てをしながらの人や自分の年齢の近い同期もいるので、何でも話せて楽しく仕事ができます。

職員一人ひとりの良いところを出し合って皆で保育を作り上げているところに絆を感じています。処遇や福利厚生もしっかりしているので、大好きな保育の仕事が長く続けられます。

● パート職員の場合

ブランクのある人でも楽しく仕事ができる！

豊森先生／33歳／宮森保育園勤務／2歳児クラス担当／
保育士になつて14年目／子ども2人のお母さん

勤務条件は自分のライフスタイルに合わせてくれるので午前のみ、午後のみ保育士もいます。また、子どもの体調等で急に休まないといけない時にも、保育士の代わりはいるけれど、お母さんは一人だから気にせずに休んで、と言ってもらえるので本当に助かります。助け合いの環境が整っているのは、はじめて保育士として現場に出る人はもちろん、ブランクのある人でも楽しく仕事ができる環境です。

私たちの保育園で一緒に働いてくれる方を募集しています！

素敵な仲間たちと、思いやり、プロ意識を持ちながら「保育士」として一緒に仕事を楽しみませんか？
さまざまな研修制度も充実しており、子育てしながらスキルアップもできます！

● 詳しい募集要項やエントリーはこちらのQRからご覧いただけます



豊森先生

田中先生

子育てコラム

子どもと家遊びをしよう!!
退屈せずに遊べるアイデア

子どもと家遊び、どんなことをして過ごしていますか？新型コロナウイルスで外出できない現在、外に出られない日が続くとお子さまは家で退屈してしまうことがあります。ここでは、退屈せずに楽しめる家遊びのアイデアを紹介しします。

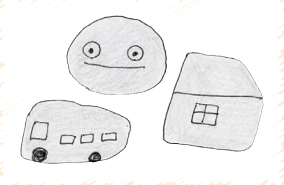
お家でお店屋さんごっこ

お家にあるものを使ってできる「お店屋さんごっこ」。お洋服が好きな子どもさんなら一緒にコーディネートを考えるのも面白いかも！使えなくなったポイントカードを取り出し「カード払い」でやれば、子どもさんのイメージする力も育ちます。店員さんとお客さんの役割を変えながら、言葉のやりとりを楽しんでみてください。



小石のおともだち

子どもは小石をみつけると、いろんな形に興味を持ち帰ります。そんな小石に油性ペンで顔を描いたり、車やお家を描いたりすれば、かわいい飾りができますよ。パパやママは子どもさんが小石を拾ったり、帰って帰ると言っても怒らないで。それは子どもの発想とメッセージだから。一緒に楽しんであげて下さいね。ボスカやアクリルペンでカラフルに色づけすることもできます！



お役立ち
情報
Useful
Information

忙しいママにぴったり!!
ヘア&メイクアドバイス!

ママになると子どもに気をとられ自分のおしゃれは後回しに。忙しくて時間がなくても、ちょっと気をつけるだけで子どもさんも喜ぶ「キレイなママ」になりますよ。

ヘアアレンジ

少し手を加えるだけで、新しい魅力と雰囲気生まれます。



分け目をサイド寄せに

分け目をいつもより少しサイドに寄せてみましょう。分け目を変えることで根本がふわりするメリットもあり、シルエットのバランスもよくなりますよ。

インナーカラーやハイライトで変化を

インナーカラーは、襟足やもみあげなど髪の毛の内側に明るめの色を入れるもので、歩いたりして髪の毛に動きが出た時にチラ見えするのがおしゃれです。

アレンジ性抜群のパーマスタイル

前髪をねじってみたり整髪料でスタイリングしたりとしおのりの幅が広がります。またルーズ感やエアリー感、抜け感といった流行を盛り込むのも簡単です。

メイク

最近はマスクを付けての外出が多くなったことからメイクのポイントをおさらい！

崩れを防ぐ

マスクでこすれた部分の色むらが目立たないよう、薄めのベースメイクでくすみ気になる部分をカバー。そうすれば「すっぴん感」も出ず、疲れが見えてしまうのも防げます。

負担の少ないメイクをする

目元や肌が敏感になる季節なので、肌に優しい低刺激なものをチョイス。またアイシャドウのみにしたりウォータープルーフタイプを選べば、パンダ目になりにくいです。

色味は柔らかいもので

白いマスクでは、黒など濃い色を使うメイクだとコントラストが強すぎて印象になってしまうので、明るく柔らかい色のメイクがおすすめです。

保育園・認定こども園のご紹介

職員の一人ひとりが、信条「この道(幼い子等の魂に愛と誠をきざみ込む尊い保育の道)に命をかけるこの人生のいきがい」を深く理解し、私たちの住む奈良の地から保育を通して日本の次世代を担う子どもたちの豊かな心の育成に取り組んでいます。

社会福祉法人愛和会は、県下に5つの保育園(朝和保育園・宮森保育園・宮古保育園・柳本保育園・こどもの森 阪手保育園)、1つの認定こども園(川西こども園)、1つの小規模保育事業所(すくすくKIDS広場)を持ち日々約1000名の子どもたちをお預かりしています。また、職員も240名が在職する法人に成長させていただいております。



保育方針

- 1 基本的な生活習慣の習得、持続
- 2 健康な心身をつくる
- 3 社会性の育成と道徳性の芽生えを培う
- 4 知的発達の基礎作りと十分な表現活動の体得
- 5 自然を愛する心、人を思いやる豊かな心を育てる
- 6 一人一人を大切にする保育をめざす

朝和保育園



〒632-0044
天理市兵庫町332-1
Tel 0743-67-1611
Fax 0743-67-2306
フリーダイヤル 0120-67-1620

宮森保育園



〒636-0344
磯城郡田原本町宮森230-5
Tel 0744-33-1611
Fax 0744-33-3298
フリーダイヤル 0120-783-194

宮古保育園



〒636-0302
磯城郡田原本町宮古667
Tel 0744-34-1611
Fax 0744-32-4855
フリーダイヤル 0120-194-783

柳本保育園



〒632-0055
天理市遠田町511-1
Tel 0743-67-1612
Fax 0743-67-1722
フリーダイヤル 0120-67-1612

こどもの森 阪手保育園



〒636-0247
磯城郡田原本町阪手931-1
Tel 0744-34-1612
Fax 0744-32-3367
フリーダイヤル 0120-733-860

川西こども園



〒636-0202
磯城郡川西町結崎1201-1
Tel 0745-44-1611
Fax 0745-42-1612

小規模保育事業所 すくすくKIDS広場



〒632-0091
天理市上総町282
Tel 0743-68-1611
フリーダイヤル 0120-68-1613

現役保育士さんの座談会

特集
Special Edition

子育てのお悩みや解決を 保育士さんがご紹介！

子どもさんや親御さんと日々接している保育士さん。「朝和保育園・宮森保育園・宮古保育園・柳本保育園・こどもの森 阪手保育園・川西こども園・小規模保育事業所すくすくKIDS広場」で働く現役の保育士さんに現場で聞いた子育てのお悩みや解決方法などをお話していただきました。

育て方・しかり方

よく保護者の皆さんから子育てに関する相談を受ける事も多いと思いますが…

【まきぶち先生】食事の際、「ちゃんと食べなさい」と言いたくなることはないですか？「見守ってあげる」という気持ちで、実は大切なんです。よく「野菜を食べないんです」との相談を受けます。野菜が苦手な子がクラスにもいるのですが、園ではお友達の影響もあって頑張って食べています。その姿をお母さんにお伝えして、強制するのではなく、少しでも食べれた時は、お家でもぜひ褒めてあげてください、とお願ひしています。

【くまと先生】私は食べ進みが遅いという相談を受けました。園でもそういった経験は多いのですが、そんな時はまずは完食できる量まで減らします。食べ終わると「全部食べれたね！」と褒めてあげながら、量を少しずつ増やしていくのです。そのこ

友達づくり

多くのお母さんが「保育園でちゃんと友達できてほしい」とおっしゃられています…

その気持ちは受け止めてあげる必要があると思います。その上で「ダメなこと」はダメと話をすることは大事なので、お母さんには園と一緒に伝えていきたいと思います。

【ふくだ先生】子どものいやいや期は伸びる時期といいますが、そういう時って自分を見て欲しい、自分の気持ちを分かってくれたいと思っているんですよ。

【まきぶち先生】保護者さんの多くが、「一人で遊んでいる」友達がいなくて心配されます。でも、「一人遊びも大事な遊び方のひとつなので、そこは誤解のないようお話ししています。」一人遊びから、成長と共にその輪が広がって友達になっていくんですよ。

子どもは見ているよ お母さんが思っている以上に感じたり、 見てたりするといいますが…

達の一日の様子を掲示しています。そうすることで、保護者さんにも子ども達の様子が伝わりやすし、子どもと保護者さんの楽しい会話のきっかけにもなります。園での生活に何かしら不安を感じておられる保護者さんは少なくないですが、保護者さんが思っておられる以上に、子ども達は園生活を通して友達づくりにできていると思います。

【ながわ先生】子どもの成長について保護者さんからお話を聞く中で、「子どもは私たち保育士をよく見ている」と感じる場合があります。保育園での生活を顧みると、保育士の姿によって子ども達の姿も変わることが少なくありません。子どもは本当に敏感ですし、私たち保育士と

しっかりと向き合ってくれているんだと思います。なので、いつも明るく元気に笑顔で接するようにしています。

【おかざき先生】最近の新型コロナウイルスの影響で保護者さんも家で忙しくなり、それを子ども達が敏感に感じているように思います。以前より、登園時に泣いてしまったり、気持ちが急に不安定になる子どもが多くなりました。そういった子ども達の保護者さんとお話すると、生活リズムが普段通りでなかったり、仕事のことや悩んでいたりと回答が返ってくるのです。暮らしの変化、家族の気持ちの変化にも、子ども達は非常に敏感ですね。

頑張るお母さんへ 毎日頑張っているのが分かります、お母さんへ…

【ふくだ先生】私は自分の子どもが

生まれてから保育士になったので、子育て目線と保育士目線の両方で子ども達と向き合うことができていますように思います。つい子どもにイライラしてしまう気持ちもわかりますが、子育ては今しかできないことですし、今しか楽しむことのできないものなので、しんどいことも受け止めて、子育てを目標楽しんでいただきたいと思います。

【もりわき先生】子ども達を見ていると、お父さん、お母さんから受ける愛情がいかに大きいかを感じます。保護者さんから、何かあるたびに「保育園のおかげで」と言っていたのですが、決して保育園での経験だけではなく保護者さんの愛情が土台になっていると思います。その愛情が芽吹きにつながるように、私たちは保育を通してサポートができればいいと考えています。

【にどう先生】保護者さんにとって、子育ては毎日が一生懸命だと思いま

す。その中で、少しでも安心感を持ち、ホッとする瞬間を感じていただけるように、そして私たち保育士を「強い味方」と感じていただけるように頑張ります！

【ながわ先生】「頑張る」を「願生」に、見方を変えて考えてみてはどうでしょうか。子どもさんとの間に行き詰まることもあると思いますが、そんな時は一息おいて「この子にどのように育ってほしいか」「どんな子になってほしいか」と考え、願いをかけることで、見方が変わり行き詰まった原因に気付けるかもしれません。何より、そうなるように「願生れる」と思っています。お父さんやお母さんの想いは伝わっていますよ。



〔川西こども園〕
ながかわ先生

〔すくすく
KIDS広場〕
ふくだ先生

〔朝和保育園〕
まきぶち先生

〔こどもの森
阪手保育園〕
おかざき先生

〔柳本保育園〕
もりわき先生

〔宮古保育園〕
くまと先生

〔宮森保育園〕
にどう先生

私たちがお話しします！